

五島列島 (下五島エリア) ジオパーク活動支援助成金  
事業成果概要【公開用】

事業名	五島列島北部に分布する五島層群の層序と古環境の復元
事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 調査・研究事業 / <input type="radio"/> 普及・啓発事業 ※該当する事業に○を記載願います
所属・ 事業実施者	愛媛大学大学院理工学研究科 地球科学分野 浦田 倫太郎
事業期間	令和 7 年 7 月 1 日 ~ 令和 8 年 2 月 2 8 日
関連分野	地質学・古生物学 ※事業の分野 (地質学/考古学/普及・啓発/保全など) について記載願います
キーワード	五島層群・脊椎動物化石 ※事業に関するキーワードを 3 点程度記載願います
対象地	奈留島・中通島有川地区 ※事業対象の地区や地名 (複数の場合は全て) を記載願います

※本様式にて提出の内容は五島列島ジオパーク推進協議会ホームページでそのまま公開いたします。

## 事業成果の概要

### <調査・研究事業の場合>

#### 1. どうして調べたのか（背景・目的）

五島列島には、今から2200万年前～1700万年前にできた「五島層群」と呼ばれる地層があります。五島層群からは、植物や貝の化石が見つかっていて、同じような化石が見つかる九州本土の地層（佐世保層群や野島層群）と同じような地層だと考えられています。ところが、動物の骨の化石については、佐世保層群や野島層群では今までいろいろな種類がいくつも見つっているのに、五島層群ではカメの化石がひとつ、見つっているだけでした。果たして五島層群では本当に骨の化石が見つからないのか？と考えたのが調べたきっかけです。（背景）そこで、カメの化石が見つっている中通島と、サイの仲間の足跡が見つっている奈留島を中心に調べることで、五島層群のどのようなところで動物の化石が見つかりやすいかを明らかにしようと考えました。（目的）

#### 2. どうやって調べたのか（調査・研究手法）

中通島（有川地区）と奈留島にある、海岸沿いのきれいで観察しやすい岩場で、化石を探しつつ、どのような岩が積み重なって地層がつくられているかを調べました。地層の積み重なり方を調べることで、化石を含む土砂がどのような環境で積もったか（川で積もった地層なのか？海で積もった地層なのか？など）を考えることができます。

見つかった化石は、現在生きている生き物や今までに見つっている化石とくらべることで、どのような生き物だったかを推測します。

#### 3. なにが分かったのか（結果と考察）

中通島から見つかったシカの仲間の化石のほかに、新たに奈留島からはスッポンの仲間の化石が見つかりました。また、中通島からは10歩ほど続いた哺乳類の足跡の化石が新たに見つかりました。これらの化石を含む地層がどうやってできたかはこれからも詳しく調べていく必要はありますが、川辺の陸上で溜まった地層だったり川や池の中の水中で溜まった地層だったり、いろいろな場所で積もってできていることがわかりました。これはつまり、五島層群の限られたところでしか骨化石が見つからないというわけではなく、五島層群のいろいろなところから骨の化石が見つかる可能性があるということです。

	五島層群	野島層群 佐世保層群
植物の化石	たくさん	たくさん
貝の化石	たくさん	たくさん
骨の化石	1つだけ！	いくつか
足跡の化石	いくつか	いくつか

探せばもっと  
見つかるかも？



中央：中通島の哺乳類の足跡 右：奈留島から見つかったカメのお腹の甲羅の化石